

ハイブランドのツール導入で 高所での安全性を向上



一ノ瀬興業株式会社

代表取締役 / 一ノ瀬 和馬

所在地 / 宮城県仙台市泉区南中山1-39-1
NAKAYAMAあさのビル4F

T E L / 022-346-0974

事業
テーマ

【平成28年度補正】

足場作業における作業効率向上による
工期の短縮・人的資源の有効活用事業



足場が宙吊りになる現場でも、床が先行してできるので安全に作業が進む



QuickDeck(クイックデッキ)は日綜産業から選ばれた会社だけが持つことができる

一ノ瀬興業株式会社 代表取締役 一ノ瀬 和馬 氏

信条

社員へは「一人一役 全員主役」
自分は「損して得を取る」

会社の強みは何ですか？



面接をする時に嘘がないこと。劣悪な環境なのに安全だと言うところもありますが、うちはQuickDeckを入れたことで安全なので、イベントの仮設テントを設営するなど、お子さんや家族にも見える仕事も行っていきます。

環境改善や仕事以外で力を入れていることは？



うちのユニフォームは仕事が終わったらそのまま飲みにいけるデザインです。夏にはTシャツも作りました。機材センターに、子どもたちのための野球の屋内練習場を作りました。会社の利益を次世代のために使えればと思っています。



組み立てがシステム化されており、従来の足場と比較して熟練工を必要とせず、施工日数も短縮された

若い人材に魅力を感じて貰うため
どう労働環境を改善するか

建設業界は非常に高齢化が進んでおり、さらに新たな若手就労者が減り、労働力不足が続いている。一ノ瀬興業株式会社では以前から人材確保のために待遇面の改善に力を入れ、日給月給制が主流の業界において、いち早く月給制を導入することで、働きやすい給与制度を整備した。一ノ瀬社長は「まだ危険な仕事というイメージがあり、高校にリクルートに行ってもゼロからのスタート。労働環境を改善しなければ人材確保は難しいわけです。現場の安全性確立が他社との差別化であり、ひとつのツールがQuickDeck(クイックデッキ)だったのです」と、導入理由を語る。



人との繋がりが新しい仕事へと繋がっていった

自社だけでなく建設業界
全体のイメージアップのために

QuickDeckは日綜産業株式会社が海外から輸入し、日本で使用できる様改良を加え開発した足場だ。従来の足場は、組立・解体の作業時に高所作業車や単管パイプ上と足元が不安定ななかでの作業が必要であるため、事故が多発することが多い。QuickDeckは常に床の上で施工が可能となり、足元が安定し作業効率・安全性が向上する。さらに組み立てがシステム化されているため、従来の足場と比べて熟練工を必要とせず、施工日数も短縮される。「事故が発生すれば社員に怪我を負わせ、最悪のケースでは命を落とし、現場も止まります。QuickDeckのようなツールを導入すれば安全が確保でき、業界全体のイメージも上がるのではないかと考えました」。



沿岸部での水門の据え付け工事など新しい仕事が広がった



イベント会場等の設営も手掛ける

んだ。それがきっかけで、営業をかけなくても紹介や評判で水門の仕事が入るようになり、今もまとまった数を受注している。

現在は大きく分けてQuickDeckを使った工事、イベント会場や仮設観覧席などを設営するイベント事業部、水門据付工事の3事業に力を入れている。終身雇用を目指す上で社員が安全で、体力的にも安心できる仕事だ。「社員が非常に喜んでやってくれて、こういう面白い仕事を取ることが大事だなと思いました。儲ける、儲けないが先に立つと、絶対にいい仕事は続きません。自分たちがいいと思った仕事をどういう気持ちでやるかが大切なのかなと思います」。

社員が満足する生活ができる
環境をともに作っていく

震災後は水門の工事も手掛けている。当時、工事の手が足りず困っていた会社から声がかかり、やり方を学びながら真摯に取り組